



UCHIDA

ClickShare [クリックシェア]

CSE-200+ CSE-200+CollaboSuite

## リリースノート

---

バージョン 01.11.00.02 — 2020/12/25 公開

- ※ Microsoft、Windows は、米国マイクロソフト社の米国及びその他の国における登録商標です。
  - ※ Apple、Mac、Mac OS は、米国 Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
  - ※ その他システム名、プログラム名などは、一般に各社の登録商標です。
- 

### ■ 今回のリリースの主な新機能

- ・ Miracast over infrastructure によるピンコード認証のサポート
  - ◇ 同じセキュリティレベルがMiracast のインフラストラクチャモードで使用できるようになりました。
  - ◇ さらに、Miracast のピンコードの桁数を 8 桁に増やしました。
- ・ その他のサービスはすべて 4 桁のコードで残ります。

### ■ 今回のリリースの改善事項

- ・ ボタンがしばらくすると接続できなくなる問題
- ・ CSR 生成プロセスの後、SAN 値が欠落する問題
- ・ 複数のセキュリティ問題

### ■ 既知の不具合

- ・ Miracast と共有すると、まれに Base Unit が再起動することがあります。

- ・ Miracast ソースを 1377x768 ネイティブ解像度で使用すると、映像が乱れる可能性があります。
- ・ Miracast の動作が一部不安定です。詳しくは、  
<https://www.barco.com/en/support/knowledge-base/kb11106> をご参照ください。
- ・ Base Unit が完全に起動する前に接続されていると、ボタンを接続できないことがあります。詳しくは、<https://www.barco.com/en/support/knowledge-base/kb8293> をご参照ください。
- ・ タッチバックが誤った座標を登録したり、広範な使用後に動作を停止したりする場合があります。

#### ■ 注意事項

- ・ 本ファームウェアのインストール後に v01.10.00 より前のバージョンにダウングレードすることはできません。
- ・ ファームウェア 01.08 において、ネットワーク統合の設定方法が変更になっております。ボタンを社内 LAN に接続して利用している場合は、ファームウェア更新後接続できなくなる可能性があります。新しいネットワーク統合の設定方法については、ネットワーク統合ガイドおよび各製品マニュアルに記載されていますのでご参照ください。
- ・ 本ファームウェアでは、有効期限が切れた（自己署名）証明書の自動更新のメカニズムを導入しています。ユーザーはこのプロセスに特に気づくことはありません。
- ・ 1.8 以降のファームウェアでは、証明書のない古いボタン（製品番号 R9861006D01）のサポートは、CS-100、CSE-200、CSE-200 +、および CSE-800 モデルでは廃止されました。

CSM、CSC-1 に同梱のボタンとの互換性がなくなりましたのでご注意ください。

- ・ MirrorOp のサポートは廃止されました。ClickShare アプリを使用することをお勧めします。
- ・ ClickShare の Windows ドライバーがボタンを検出するには、更新が必要です。これは、Wi-Fi 経由の更新を介して自動的に行われます。または、ボタンをそれぞれのベースユニットに接続することで、手動でペアリングおよび更新できます。詳細については、<https://www.barco.com/en/support/knowledge-base/KB9619> をご覧ください。
- ・ パッシブ HDMI は、HDMI の仕様より多くの電力を消費する VGA コンバータへの変換は機能しません。アクティブコンバータを推奨します。
- ・ ボタンのペアリングが動作しない場合が稀にあります。その場合、本体の電源を抜いて再起動し、ボタンを再度ペアリングしてください。
- ・ AirPlay や Miracast で接続不良、動作不良が発生した場合は、次の回避策をお試しください。
  - ◇ ClickShare アプリを Airplay または Miracast の代わりとして使用してください。アプリはすべての主要なプラットフォーム（Windows、macOS、Android、iOS）で利用でき、月次でアップデートされており、すべての ClickShare Present Base Unit と互換性があります。また、Airplay / Miracast にはない機能も提供します。
  - ◇ ベースユニットを定期的に再起動して、問題が発生しないようにします。デバイスの一括再起動スケジュールは、eXperience Management Suite (XMS) を使用して実行できます。
- ・ Airplay を使用した動画のビデオ再生（音声付動画、Youtube App）が動作しない場合があ

ります。今後のリリースで解決する予定です。

- ・ Android 端末では、AndroidOS の仕様上、音声の共有ができません。

#### ■ 過去のリリースの主な新機能(01.10.00.13)

- ・ ボタンの DFS サポート(R9861500D01 および R9861500D01C)
  - ◇ 更新すると、ClickShare ボタンは UNII-2A バンドの DFS チャンネルに接続できるよう になります。
  - ◇ R9861500D01 および R9861500D01C に限定された機能
  - ◇ Base Unit と EU または NA SKU 拡張ユニットをペアにしたボタンに限定された機能
  - ◇ CSE-200+ では、UNII-2C も上記の SKU で使用できます。
- ・ [BETA] SCEP サーバの追加サポートを追加します。
  - ◇ NDES (Network Device Enrollment Service) による SCEP 登録の既存のサポートの横に、他の汎用サーバーの初期サポートが追加されました。
- ・ NDES/SCEP 登録に使用できるパラメータを拡張しました。

#### ■ 過去のリリースの改善事項(01.10.00.13)

- ・ Airplay と Miracast サービスに対するいくつかの不安定性
  - ◇ Miracast を介して共有する場合にベースユニットがフリーズする。
  - ◇ 解像度 1366x768 の複製モードでの共有の問題。
  - ◇ AirPlay ベースユニットとの接続が失われ、再接続できずリセットが必要。
  - ◇ 画面共有により、投影の遅延が生じる。
- ・ 会議室名を表示するために ClickShare アプリで使用できる文字数の制限

- ・ CSRF 保護を含む、ClickShare Configurator のセキュリティの向上
- ・ CVE-2019-18824 を含むいくつかのセキュリティトピック
- ・ TouchBack がしばらくして動作を停止する可能性がある問題
- ・ IGMP パケットが Base Unit によって送信されなかった問題

#### ■ 過去のリリースの主な新機能(01.09.02.12)

- ・ ClickShare デスクトップアプリで、アプリの共有などの機能を利用できます。
- ・ Apple デバイスで、Bluetooth を使用して、ベースユニットを簡単に検出できるようになりました。
- ・ ワイヤレススペクトルの使用増加を避けるため、Miracast MICE を導入しました。既存の企業インフラストラクチャを使用して、以前と同じ操作性で利用できます。
- ・ 会議室で誰も共有していない場合に、ClickShare の HDMI 入力を使ってサイネージプレーヤーとして使用することが可能です。管理画面で使用するスクリーンセーバーと、アクティブになる時間を設定してください。

#### ■ 過去のリリースの改善事項(01.09.02.12)

- ・ デスクトップアプリは、有線ネットワーク接続ではなく、ベースユニットの Wi-Fi に接続する傾向があった不具合を改善しました。
- ・ ボタン上で動作するデスクトップアプリは、いくつかのバグ修正とエクスペリエンスの改善を行いました。
- ・ 2.4 GHz のスタンドアロンモードでボタンを使用すると、ビデオのパフォーマンスが最適にならない不具合を改善しました。

- ・ ボタンが接続しているときに、ベースユニットがネットワークスタンバイから復帰しない不具合を改善しました。
- ・ 以前のバージョンの ClickShare 管理画面での完全バックアップのパラメーターが欠落している不具合を改善しました。
- ・ REST インターフェースでの一時的な DoS を止める不具合を解消しました。
- ・ HTTPS 用の自己署名証明書を再生成すると、エラーページが表示する不具合を解消しました。
- ・ セキュリティレベルを変更すると、確認を求めずに設定がすぐに適用されてしまう不具合を解消しました。
- ・ Button 接続先一覧に、一部の設定が正しく適用されない不具合を解消しました。

#### ■ 過去のリリースの主な新機能(01.09.01.07)

- ・ ClickShare デスクトップアプリがボタンに組み込まれました。
- ・ Apple デバイスは Bluetooth を使用して、ベースユニットを簡単に検出できるようになりました。
- ・ スクリーンセーバーとして HDMI 入力ソースを選択できるようになりました。

#### ■ 過去のリリースでの改善事項(01.09.01.07)

- ・ ジャックの音声レベルが低い問題を解決しました。本ファームウェアに更新後に、工場出荷時状態へのリセットが必要になります。
- ・ WiFi クライアントモードでは、AirPlay など一部のサービスが利用できない問題を解決しま

した。

- ・ 設定が消失し、ネットワーク統合で認証エラーが発生する問題を改善しました。
- ・ 断続的にアップグレードした後、XMS でユニットを管理できなくなる問題を改善しました。
- ・ 会議室名として入力された中国語の文字がモバイルアプリに反映されない問題を改善しました。
- ・ セキュリティレポート CVE-2019-18827、CVE-2019-18830、CVE-2019-18831、CVE-2019-18826、CVE-2019-18828 に含まれる問題を一部改善しました。

■ 過去のリリースの新機能(内田洋行 web ページ未公開の 01.08.00.06 での新機能を含む)

- ・ 会議室での専用ネットワークを用意しなくても良いように、CSE-200 +のワイヤレスクライアントモードを導入し、Wi-Fi を介してベースユニットを企業ネットワークに接続または統合できるようにします。
- ・ デュアルネットワークサポートにより、BYOD のネットワーク統合が簡単になります。デュアルネットワークでは、ユニットを 2 つの異なるネットワークに同時に接続できます。1 つはイーサネット経由で、もう 1 つは Wi-Fi 経由です。
- ・ カスタムボタン統合により、ボタン接続とベースユニットのワイヤレス設定の両方を個別に完全に制御できるため、ClickShare デバイスを統合する際の柔軟性が向上します。これにより、ボタンが企業ネットワークに完全に統合されたときに ClickShare デスクトップアプリのプレゼンス検出を有効にし、ゲストまたは BYOD の直接接続をサポートできます。
- ・ 企業ネットワークでの統合を改善するために、企業ネットワークで CSE-200 +とペアになったボタンを統合するときに、5GHz DFS チャンネルを使用できるようになりました。 (EU

バージョンのみ)。

- ・ BYOD コンテンツ共有の追加方法を提供する Miracast R2 機能が追加されました。
- ・ Windows 7、8、8.1、および 10 での ClickShare Button に対する Windows ドライバーのサポート。Windows ドライバーは、共有する前に手動で操作する必要をなくすことにより、ClickShare Button エクスペリエンスの最後の障害を取り除きます。Windows ドライバーは、ボタンで ClickShare クライアントを自動的に起動し、ユーザーの操作なしでボタンをクリックできるようにします。Windows pc は、ClickShare Button を最初に挿入すると、Windows Update ストアからドライバーを自動的にダウンロードします（インターネット接続が必要です）。

ボタンがコンテンツをベースユニットと共有しているときにノート PC がスタンバイになるのを防ぎ、プレゼンテーション中の操作性を向上させます。

■ 過去の改善事項(内田洋行 web ページ未公開の 01.08.00.06 での改善事項を含む)

- ・ 特定の場合に、内部 Wi-Fi モジュールが使用できなくなり、ベースユニットの再起動が必要になっていた不具合を解決しました。
- ・ このアップデートにより、HDMI 入力の変色の問題が完全に解決されました。

■ 関連する資料

ClickShare の詳細な使い方については、「ClickShare ユーザーガイド」「ClickShare 設置マニュアル」をご覧ください。これらは、内田洋行 web サイト ClickShare ユーザーサポートページよりダウンロード頂けます。(URL : <http://office.uchida.co.jp/ict/clickshare/support.html>)